

【たにざわこどもクリニック】

【研修内容と特徴】

地域医療研修として、地域小児科診療所の現状を把握し、小児のプライマリーケアを担う人材の育成の一翼を担う内容とする。

当院は小児科専門医による急性期医療、予防注射・乳幼児健診による予防医療に加えて、常勤医 2 名の専門領域の腎・泌尿器疾患、内分泌疾患、アレルギー疾患の診断と治療を研修できる特徴がある。

【研修の実際】

① 一般目標 (GIO)

将来選択する専門医の領域にかかわらず、一般小児診療に必要な基礎知識、初期対応スキル、態度を習得する。

② 行動目標 (SBO)

1. 小児の特性である「成長と発達」をよく理解し、子供本人と養育者とのコミュニケーションを取りながら診療に有益な情報採取できるようになる。(態度)
2. 乳幼児期に頻度の高い急性期疾患を診断し、治療、合併症の管理ができる。
3. 乳幼児健診による発育・発達異常の抽出、境界児の管理や専門施設への紹介ができる。
4. 検尿、ウイルス迅速検査が実施でき、評価できる。
5. 脱水症の輸液計画や気管支炎、尿路感染症などの感染症への投薬計画を作成できる。
6. 患児と保護者、スタッフとのコミュニケーションができる。
7. 予防接種の有効性を理解し、適切な実施計画を作成できる。

③ 方略 (LS)

1. 毎日の外来診療に参加し、指導医の指導を受ける
2. 予防接種・発達健診外来で見学と補助行為を実践する

【教育に関する行事】

1. 外来診療：午前：9時-12時、午後：16時-18時（木、土は除く）
2. 予防接種：午後：15時-16時（木、土は除く）

【研修評価 (EV)】

基本的にEPOCで評価する。

指導医等

院長：谷澤 隆邦

副院長：前 寛

研修実施責任者

院長：谷澤 隆邦